

朗読ボランティアを50年 そしてこれからも

■ 団体名・氏名

三次朗読奉仕者友の会

■ URL

■ 基本データ

継続年数	46年間
主な連携先	社会教育関係団体、学校、図書館等
団体の規模等	20名

対象	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	重度重複
活動分野	学習	文化芸術	スポーツ	情報保障	普及啓発	その他

活動の概要

視覚障害者への情報保障として、市の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を中心に活動しています。また、視覚障害者の社会参画を目的とした交流機会の企画や、系統的な活動とするための朗読ボランティア養成講座の実施、小学校等への出前講座等も精力的・継続的に行っています。

■ 活動内容

視覚障害者への情報保障として、市の広報誌、市議会の広報誌、社協広報誌、身障害者協会広報誌の朗読テープ・CDの作成を定期的に行うほか、視覚障害者の方からの要望に応じて、新聞や書籍の朗読テープ・CDの作成も行っており、作成した成果物は利用者だけでなく三次市立図書館にも提供しています。

また、視覚障害者の方の社会参画を目的に、音楽鑑賞会の企画やハイキングサポートを定期的に行っています。

さらに、朗読ボランティアの活動を普及するため、朗読ボランティア養成講座を実施するほか、市内小学校や三次市社会福祉協議会と連携・協働し、年間を通じて小学校への訪問による啓発活動や、毎年、社会福祉協議会が開催する福祉体験学習（主に一般・高校生）の講師や支援を継続して行っています。



写真1 養成講座実施

■ 活動の経緯・体制

「目の不自由な方のためにお手伝いをしたい」という初志のもと、視覚障害者への情報保障として指定図書朗読テープを広島点字図書館へ納める活動から始まりました。現在は市や議会の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を活動の中心とし、利用者の要望にも柔軟に対応しています。また、会員の勉強会や企画などの活動も行っており、各種イベント等からの講師依頼や学校からの活動支援に係る連絡や調整も行っています。

■ 活動の工夫・成果

障害者フライングディスク大会に、ボランティアスタッフとして毎年参加し、障害者支援者のネットワークの拡大を行っています。広報誌の朗読については、機械による音声サービスだけでは情報が届きにくい視覚障害者に対して、情報の伝わりやすさを考え、再構成する工夫をしています。朗読ボランティアを系統的に長期間実施することで、地域の障害者の生涯学習支援の基盤となっています。



写真2 記念誌発行（4回）